

平和記念資料館本館下発掘調査の 状況について

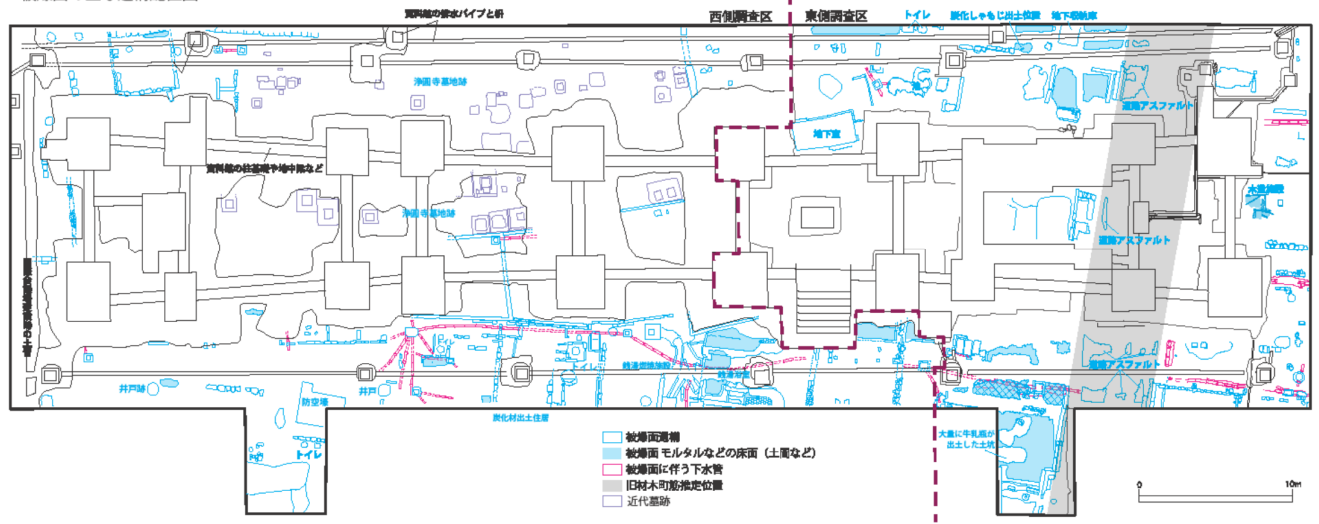
平成30年7月30日
(公財)広島市文化財団 文化財課



1 調査の経緯

- ・広島平和記念資料館の耐震工事の実施に伴う発掘調査
- ・第一次調査(東側調査区)
 - 中央参道より東側(調査面積の約3分の1／平成27年11月20日～平成28年5月6日)
- ・5月27日のオバマ大統領来広や8月6日の平和記念式典のための中断
- ・第二次調査(西側調査区)
 - 中央参道を含む西側(調査面積の約3分の2／平成28年9月6日～平成29年3月31日)

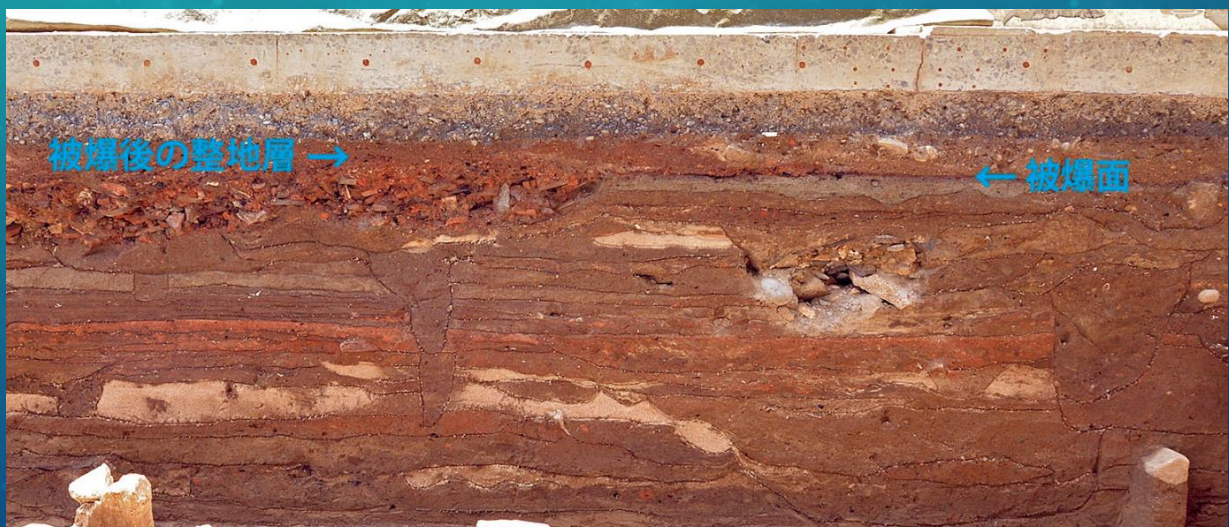
被爆面の主な遺構配置図



2 被爆面の調査

●被爆面の判断

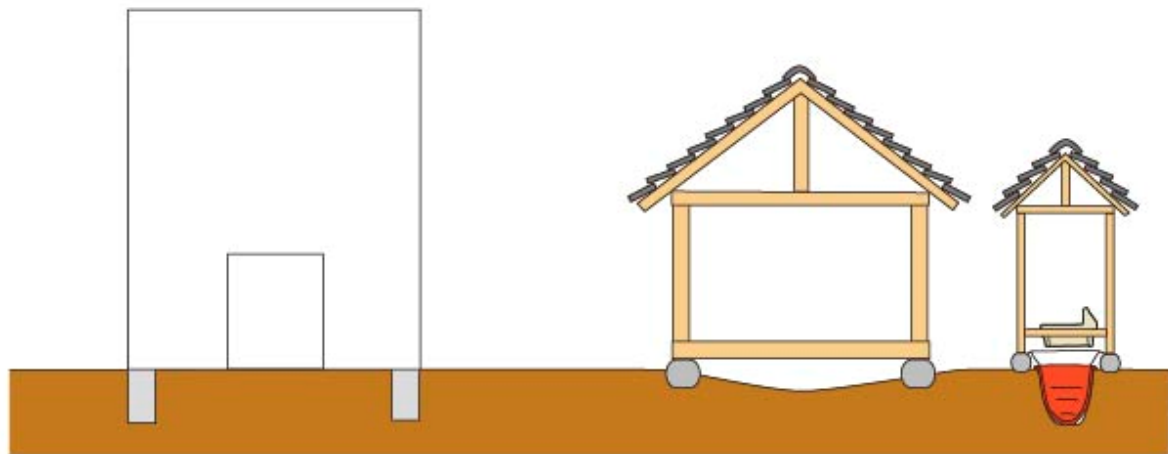
焼土や瓦礫(被爆瓦含む)、炭、コンクリートの塊などが混ざった整地層を確認。
その下に炭・焼土層が形成され、直下が被爆時の生活面と判断



東側調査区 南端土層

2 被爆面の調査

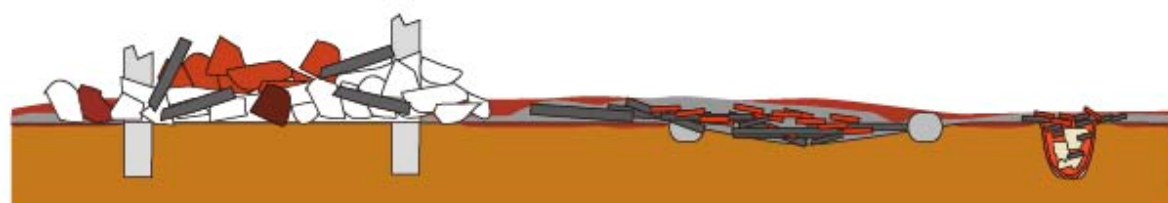
●被爆後整地模式図



①被爆前

2 被爆面の調査

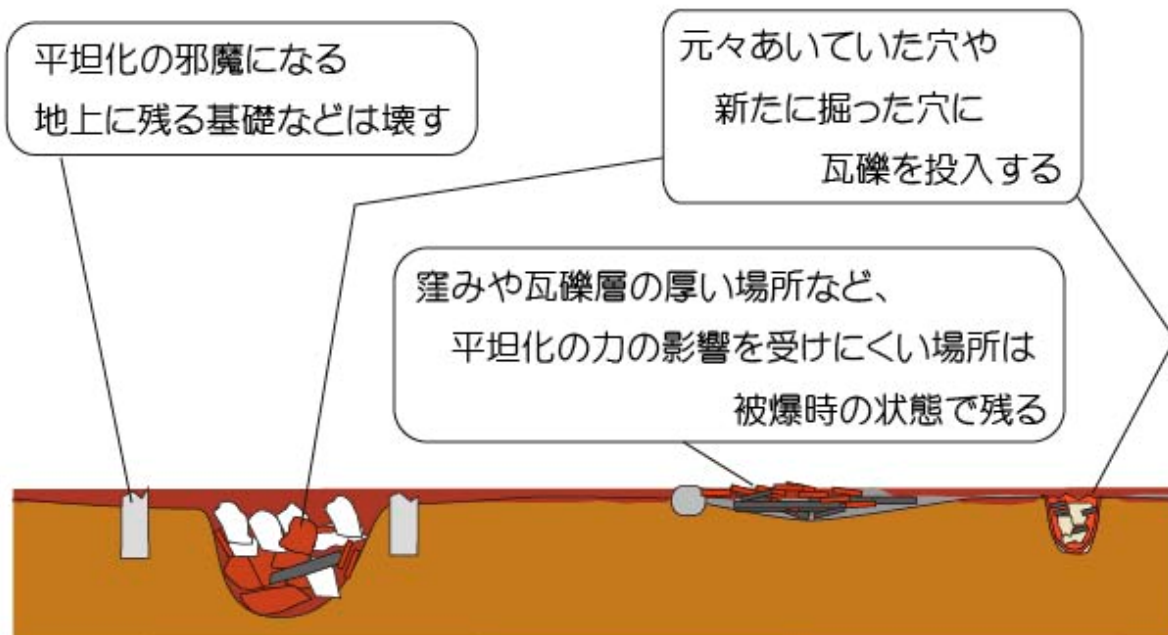
●被爆後整地模式図



②被爆直後

2 被爆面の調査

●被爆後整地模式図



③瓦礫の片付け・平坦化

2 被爆面の調査

●被爆後整地模式図



④土入れ・整地

①被爆後の整地層



西側調査区 北西側

②被爆面上の炭化材・焼土層



西側調査区 北西側

③被爆面の検出



西側調査区 北西側